幸福の道 新因幡ライン 地元民御用達所 三十六景

第二巻

鳥取（とっとり）

三十七 昭和平成〝最先端〟看板

所在地▼ 鳥取市中心部

江戸時代には二十二万石城下町であった鳥取市。明治期も城下時代の区割りでマチが作られ、さらに戦後の復興で歩きを楽しむことができる。そんな中、平成最後の年を迎えた2019年の1月時点で、昭和と平成に掲げられた看板がまだ存在していたことが判明。「三菱カラーテレビ高雄」「PC-8001シリーズ」そして「ウインドウズ95」…かつて日本中の人々を熱狂させた名作がココ。この〝看板巡り〟は一味違いマス！

利用心得：看板は全て鳥取市中心部、特にウインドウズ95は絶滅寸前ゆえ急ぐべし！ なみにピル1階はOA機器店だ

三十八 瓦町ロータリー

所在地▼ 鳥取市瓦町

4つの道路が交わり6方向からのクルマが通行する交差点。元々は武家屋敷が数あり、交易小屋や遊郭を経て山陰線開通で鳥取駅からの道が2つながり、明治の終わりには差路の原型ができたとされる。昭和の大開発の大火で中断しながらも道路整備は継続され、1958年に今のカタチとなった。「県外の方からバリみたい」と褒められた交差点だという鳥取ロータリー。やり時代も回る。

利用心得：信号はない。譲り合いで緊速道行が大原則だ。1970年代には中央部に高い鉄塔もあったという

三十九 大野見宿禰命（おおのみのすくねのみこと）神社

所在地▼ 鳥取市徳尾

此処は相撲の守。その由来は次の通りである。神社の御祭神である野見宿禰命は約2000年前に大和国（現・奈良県）の豪の者・当麻蹴速との力競べ（これが相撲の原型とされる）で仕えることとなり、相撲の始祖と呼ばれる鳥取出身の力士として新入幕を果たした。2016年に鳥取出身の57年ぶりの幕内力士として新入幕を果たした。鳥取場所で、鳥取場所で。

利用心得：飲地内の林は「鳥取平野に残された貴重な自然景観林」として、学術的な価値が高いとされている

四十 袋川櫻並木

所在地▼ 鳥取市立川・湯所

鳥取人は桜がだ～い好き！ かような〝桜川市訪問〟には桜川市にある。それがこの桜並木である。袋川の土手に約2キロ（約1万人）にわたり続く220本の桜のトンネル。4月初旬には、この桜並木は大火で一度消失しました。しかし鳥取出身の世界的デザイナー・故・水玉の〝草間彌生〟氏が再建に力を貸したという「地元民」送りの名の名は鳥川弥太郎。桜並木は「桜のあしながおじさん」と市民の感謝の声が絶えない。

利用心得：見頃は3月下旬から4月初旬、夜はライトアップされ川面に映る桜もまた美しい。花見の一大スポットでもある

四十一 スペイン石窯 パンの家ノホス

所在地▼ 鳥取市立川

老若男女という四字熟語を体験できる、驚きの絶えない人気店。スペインから職人が招聘して〝親み立て〟という遠方外国人の高い品質の〝スペイン販売店〟である。バゲットは勿論、ハード系からソフト系まで、ほぼ全ての種類のパンが揃う。「パンスタッフ」も含めた約30種以上の方程式（レシピ）を使い、毎日焼きたてのパンを提供。サンドイッチも充実。多種類の惣菜パンもベスト。毎日来るもいいとか、やはり〝家〟なのだ。

利用心得：営業時間は17時～19時、入場1ヒト元日定休、イートイン6、平日11時までモーニング、じっくり煮込んだカレーパンも大人気

四十二 あの東照宮が目に入るのだ 樗谿（おうちだに）公園と鳥取東照宮

所在地▼ 鳥取市上町

東照宮、東照大権現様を祀る徳川家康を祀る神社である。初代鳥取藩主・池田光仲が家康の慰霊と祈りの為に創立。御祭神は東照大権現様（徳川家康公）。御神体は家康公の遺品である「金の采配」。御本殿は重要文化財。秋には神輿行列が行われる。「権現様」や「お道を開け」などの掛け声が聞こえる。「権現様」や「お道を開け」などの掛け声が聞こえる。「権現様」や「お道を開け」などの掛け声が聞こえる。「権現様」や「お道を開け」などの掛け声が聞こえる。

利用心得：早朝の散歩も気持ちいい。公園入口近くのやまびこ館は鳥取市歴史博物館、展示もチェック

四十三 店主の声に繁盛店の秘訣が 喫茶インディアン

所在地▼ 鳥取市雲山

名前は鳥取市生まれだったカレー元は東京銀座のスリランカ直伝の味をふり入った。女性店主が出版のスリランカ直伝の味をふり入った。女性店主が出版のスリランカ直伝の味をふり入った。女性店主が出版